



＜28年9月より翌3月まで91両に導入開始＞

日常清掃の省力化、長期塗膜維持性を評価

平成28年9月よりJR東日本仙台支社管内のE721系車両にて、ファインコートメンテナンスシステムが正式採用され、来年3月までの工期で、91車両への導入が決定しました。

当初、弊社が立会を行いつつ、実際の施工はJRテクノサービス仙台的施工チームが技術修得を兼ねて実施していただく流れです。技術移管がスムーズに進めば、新型車両への導入も予定したい…との声を頂戴しました。

＜融雪剤にも侵されず、剥離作業が不要に＞

始発までの短時間で、清掃作業を効率化

この度、車両での正式ご採用の決め手は、清掃作業の効率化によるコスト削減と品質向上にあると言えます。以前、当ニューズレターVol.5でもご紹介させていただきましたが、約1年前一車両を試験施工し、半年間の検証を経た結果、融雪剤等が汚れとなり床面に付着しても、汚れ自体を洗浄除去すると、綺麗な光沢のある床が甦ることが証明されました。また、塗膜自体が汚れの付着を促進したり、変色したりすることが

無いため、ワックス管理の時は必要だった、毎月の剥離作業をなくす事が可能となりました。終電から始発まで、限られた時間での清掃管理が必要な鉄道車両では、作業の省力化、



効率化が鍵となります。定期的な剥離作業が不要、かつ水拭きだけでワックスを積層したような高光沢が実現

できるファインコートメンテナンスシステムは、うってつけのシステムだったと言えます。

＜山手線でも試験施工実施＞

艶消し仕様にも対応

同じく東京の山手線でも、同8～9月にかけて一車両試験施工を実施いたしました。山手線においては、女性客の目線で艶消し仕様となっており、仕様についてはお客様のリクエストにより、今後も様々なバリエーションを持たせる予定です。

株式会社 九州ハイテック

本社 〒891-0115 鹿児島市東開町15-5 TEL:099-298-1115(代) FAX:099-298-1116

営業所 仙台・長野・東京・大阪・名古屋・広島・福岡・鹿児島

URL <http://www.k-hitec.co.jp>

JR博多駅1F 「マイニング」にて ご導入実現!!

＜通路部を中心に約1,800㎡にて導入＞

平日8.5万人、休日10.8万人来場エリア

JR博多駅隣接の商業施設『マイニング』が2015年12月、26年ぶりにリニューアルしました。それに伴い、コンコースを中心に約1,800㎡のエリアで、ファインコートメンテナンスシステムでの管理が実現しました。

開業から10日間で、69万人が来館、その後も平日で8.5万人、休日で10.8万人（※博多ステーションビルHPより引用）の出入りがある超重歩行エリアの為、通常のワックス管理では美観が維持できないところ、ファインコートの高硬度膜が長期に亘り防汚効果を発揮し、開業から9か月を経た現在も良好な状態を保っています（但し、4ヶ月毎に部分補修実施）。

同エリアは元々、大理石が使われており、当初の計画ではセラミックタイルへの張替えを検討されていたところ、石材系床材による疲労感や、少子高齢化の流れの中、転倒事故等のリスクに強い、塩ビ系床材が採用されました。塩ビ系床材でありながら、セラミックタイル同様、洗浄程度の日常管理で容易に美観を維持できる点、管理会社である九州メンテナンス、運営母体である博多ステーションビルからも、評価を

頂けたものと自負しています。

＜JR鹿児島駅アミュプラザ、川崎駅アトレ他＞

導入へ向け、試験施工を実施

JR関連施設のつながりで、JR鹿児島駅隣接のアミュプラザ、JR川崎駅隣接のアトレ川崎においても、試験施工を経た導入が検討されています。施設のオーナーである鹿児島ターミナルビル、アトレ担当者も、高い関心と期待を持って下さっており、現在経過観察を行っているところです。その他、JR宇都宮ステーションビル、JR東日本スポーツなど



も興味を持っていただいております。試験施工を経る中にご導入をいただく案件も出てくるかと思えます。進捗につき

まは、当ニュースレター等で改めてご報告させていただきます。

株式会社 九州ハイテック

本社 〒891-0115 鹿児島市東開町15-5 TEL:099-298-1115(代) FAX:099-298-1116

営業所 仙台・長野・東京・大阪・名古屋・広島・福岡・鹿児島

URL <http://www.k-hitec.co.jp>